

当院の放射線治療について

放射線治療の対象

- 放射線治療はほとんどの悪性腫瘍と一部の良性腫瘍（ケロイドなど）が対象になります。
- 病気を消してしまうこと（根治）や病気による症状を楽にする（緩和）などその目的は様々ですが、全世界ではがん患者さんの2人に1人以上が放射線治療を受けているといわれています。

放射線治療の実施

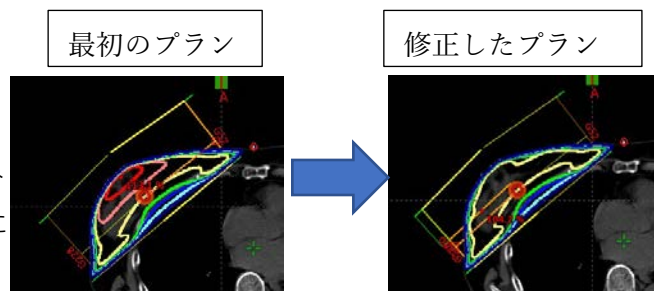
- 当院の放射線治療では、他の多くの施設と同様に専用の装置から発生するX線や電子線を使用します。
- 実際に放射線があたる時間は1回あたり1~2分程度です。
- レントゲン検査と同じように放射線があたっても熱さや痛みなどを感じることはありません。
- 治療後に放射線が体内に残ることもありません。
- 放射線をあてる回数は病気の種類や治療の目的により異なります。1回で終わる治療もあれば、平日毎日治療を受けて2ヶ月程度かかることもあります。



当院の放射線治療装置（リニアック）

放射線治療の計画

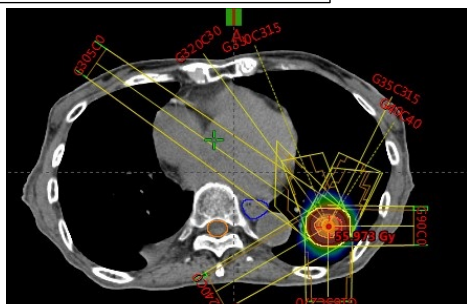
- 放射線を当てる範囲や方法は、治療用のCTをもとに医師と医学物理士が協力して検討・作成します。
- 計画のほぼすべての作業はコンピュータで行います。どのように患者さんの体に放射線があたるかをシミュレートしながら、より適した治療となるように修正を重ねて実際に治療で使用されるプランが完成します。



放射線があたりすぎる部分（赤）を修正した例

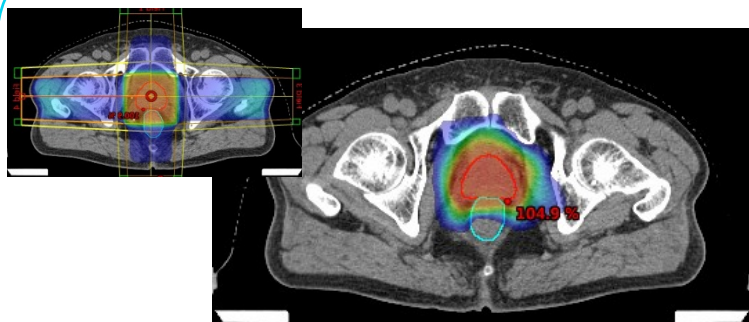
さらに当院では定位放射線治療（SRT）や強度変調放射線治療（IMRT）などの高精度治療により、病気に対しより効果的に、副作用がより少ない治療ができるよう努めています。

定位放射線治療（SRT）の例



通常よりも多い放射線を狭い範囲に集中してあてることで、治療効果を高めることが目的の治療です。多くの場合1~2週間の通院で治療が終わります。

強度変調放射線治療（IMRT）の例



コンピュータであたる範囲を細かく調整することで、通常の放射線治療（左上）と比べて周囲の正常組織に当たる放射線の量を減らすことができる治療です